

# 愛知銀行との経営統合 (2022年5月11日最終合意を締結)

## 経営統合の背景・目的

環境問題やポストコロナなどの産業構造や社会環境が変化中、フィンテック企業などの新規参入や他行競争激化による経営環境の変化に加え、お客さまニーズの高度化・多様化による地域金融機関としての使命・役割の重要性が増大しております。こうした経営環境・経営課題を認識し、今後も地域の皆さまの期待にお応えし続けるために、愛知銀行との経営統合に至りました。

経営統合により、マーケットシェアの拡大やリソースの追加投入が可能となることを活かし、安定した営業基盤の拡充や収益力の向上により経営環境の変化に対応するとともに、将来にわたり持続可能なビジネスモデルを構築することで、両行の企業価値を高め、ステークホルダーの期待にお応えいたします。



## 経営統合後のグループ会社概要

共同持株会社は監査等委員会設置会社とし、現在の愛知銀行の本店所在地を共同持株会社の本店所在地といたします。共同持株会社の代表取締役には愛知銀行取締役頭取 伊藤行記、代表取締役副社長には当行取締役頭取 小林秀夫が就任予定です。

株式移転比率は、当行の普通株式1株に対して、共同持株会社の普通株式1株を、愛知銀行の普通株式1株に対して、共同持株会社の普通株式3.33株を割当交付し、2022年10月3日に共同持株会社に移転し、株式会社あいちフィナンシャルグループとして東証プライム市場に上場いたします。

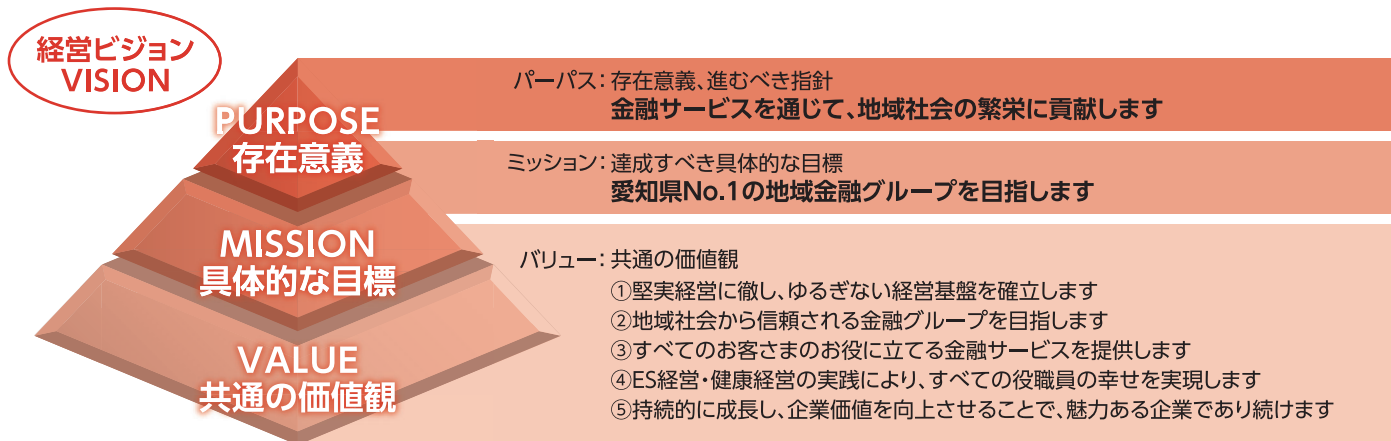
共同持株会社の概要		グループ組織図(予定)		経営統合に向けた今後のスケジュール
商号	株式会社あいちフィナンシャルグループ			● 2022年5月11日 経営統合契約書の締結(両行) 株式移転計画書の作成(両行) 自社株公開買付応募契約書の締結(中京銀行)
本店所在地・主な本社機能	愛知県名古屋市中区栄3丁目14番12号			● 2022年6月24日(予定) 株式移転計画書の承認決議(両行定時株主総会)
機関	監査等委員会設置会社			● 2022年9月29日(予定) 両行上場廃止日
代表取締役	代表取締役社長 伊藤 行記 (愛知銀行取締役頭取) 代表取締役副社長 小林 秀夫 (中京銀行取締役頭取)			● 2022年9月30日(予定) 中間配当および特別配当の基準日
資本金	200億円			● 2022年10月3日(予定) 共同持株会社設立日及び上場日
設立予定日	2022年10月3日			● 株式移転の効力発生日から約2年後を目途 両行合併
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 名古屋証券取引所プレミアム市場			

商号に込めた想い

私たちの主な営業基盤である愛知県を大切に、ともに成長していくことで「愛知県No.1の地域金融グループを目指す」という想いを込めています。  
また、愛知銀行の「あ」と中京銀行の「ち」が、地域いちばんの「い」を一緒に目指すという想いも込めています。

## 経営理念

当金融グループは経営理念を経営ビジョン「VISION」と呼び、パーパス「PURPOSE」、ミッション「MISSION」、バリュー「VALUE」の3つの要素により、全役職員が目指す姿および意思決定の際の指針とします。



## 経営統合により見込まれるシナジー

経営統合による経営の効率化・合理化を通じて創出した人員をはじめとする経営資源を成長分野に集中投下し、営業基盤の拡充やコンサルティング・ソリューション型ビジネスモデルの確立などにより、第3次中期経営計画では累計120億円以上のシナジーを目指します。

### 経営統合により見込まれるシナジー

- (1) 営業基盤の拡充
- (2) コンサルティング・ソリューション型ビジネスモデルの確立
- (3) 多様性のある人材の育成
- (4) 経営の効率化・合理化

これらの取り組みを通じて、  
2030年度単年度で50億円以上、  
第3次中期経営計画累計で  
(2028年度～2030年度)  
120億円以上のシナジーを目指します\*

\*シナジーの想定金額は、2021年度実績値との比較

## 三菱UFJ銀行との関係

愛知銀行との経営統合を実施するにあたり協議を重ねる中で、新金融グループは、愛知県を中心とした東海エリアを基盤とし、地域に貢献する独立金融グループを目指したいとの考えに至り、三菱UFJ銀行が保有する当行の株式のすべてを取得することにつき協議を行ってまいりました。

三菱UFJ銀行が保有する全株式の自己株式取得により、資本関係はなくなりますが、当行、愛知銀行及び共同持株会社との良好な協業関係につきましては、引き続き維持されます。